

# 議会報告会報告書

平成27年5月22日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 下瀬 俊夫

平成27年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成27年 4月 24日 (金) 19:00 ~ 20:10

### 2 開催場所

厚陽公民館

---

### 3 参加人数 (市民)

4 人

---

### 4 担当班議員名

( 下瀬 俊夫 ) ( 石田 清廉 ) ( 大井 淳一郎 ) ( 笹木 慶之 )  
( 中村 博行 ) ( 長谷川 知司 )

### 5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 3月議会の報告

① 民生福祉常任委員会 ( 石田 清廉 ) [司会] ( 大井 淳一郎 )

② 産業建設常任委員会 ( 長谷川 知司 ) [記録] ( 中村 博行 )

③ 総務文教常任委員会 ( 中村 博行 ) [受付] ( 笹木 慶之 )

④ 一般会計予算決算常任委員会 ( 下瀬 俊夫 )

(3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

- ① 新病院が4月1日にオープンしたが、それ以降の入院・外来患者数の増減はどうなっているか。

[回 答]

昨年10月のプレオープン時に機材の搬入などで2日間休診したため、患者数が減少した。グランドオープンの4月以降は把握していない。

- ② 山口東京理大について、特別委員会を設置する必要があったのか。総務委員会だけでやれたのではないか。

[回 答]

山口東京理大は9月までに定款が上程される見込みで、短期間での議決が求められるため、特別委員会を設置して検討することを議会として決定した。

- ③ (一般会計予算)附帯決議で、人口増につながる施策展開とはどういうことか。

[回 答]

議会が人口定住についての政策討論会を実施し、現在、各委員会がそれに向けての提言をまとめている最中である。例えば、民福委員会では子育て支援の充実をあげている。また、定住促進として他市からの家屋新築等に対しては5年間固定資産税を無料にする制度はあるが、行政には他に具体策が少ない。

- ④ 母親が作ったものを子に食べさせると言った当たり前のことが失われた。

給食も調理員の顔が見える自校方式が良いと思うがどうか。

[回 答]

議会の中でも1センター方式が良いか否かの議論をしてきた。その結果、1センター方式を可決した。

- ⑤ 他市から転入した場合の優遇制度は聞いたが、市内の者が新築した場合も定住にあたると思うが、固定資産税の割引は考えられないか。

[回 答]

定住促進については総務委員会で審議をした。行政は人口について、自然増減や社会増減の調査資料は持っているが、具体的な人の移動など分析ができていない。分析から対策が生まれるので、それを急がせているところである。

- ⑥ 市営・県営住宅を建設する政策が全く見えない。厚陽地区は児童数の減少が顕著で、その歯止めとして厚陽中学校跡地に市営住宅の建設は考えられないか。

[回 答]

現状、市営住宅は約1500戸あり、空き家もある。叶松団地など老朽化して

いて建て替えの必要があるとしても、住民との関係もあり簡単にはいかない。また建て替えでないと国などの補助がないので、市営住宅建設に踏み切れない。政策的にそこに人を集めるという目的・施策により、市営住宅全体を見直して整理するものは整理し、新たに厚陽中跡地に建設すると言うことはありうると思うが、市の方針次第である。

- ⑦ 建築業界では後継者の育成ができない。公共施設建設など県産木材を使用した建物の推進を図るべきだ。木造建築の方が長持ちし改造も容易にできる。特に災害時の復旧には人手が不足、今育成しておかなければ10年後は皆無となる。考えてほしい。
- ⑧ 今後、公民館などの建設の際には、高齢者に配慮して教室を2階に配置するのをやめてほしい。
- ⑨ 議員は税金をもらって活動している。本会議、委員会等の欠席は極力慎むべきである。下瀬議員は欠席が多いが理由を明らかにしてほしい。

〔回 答〕

今は資料がないので、後ほど調査して公表したい。

- ⑩ 議員の顔が見えない。もっと市民と共に活動して欲しい。

〔回 答〕

住民の意見を聞くことが一番大事だと思っている。今後は自治会懇談会など地域に入っていく、地域住民の意見聴取もしていきたい。